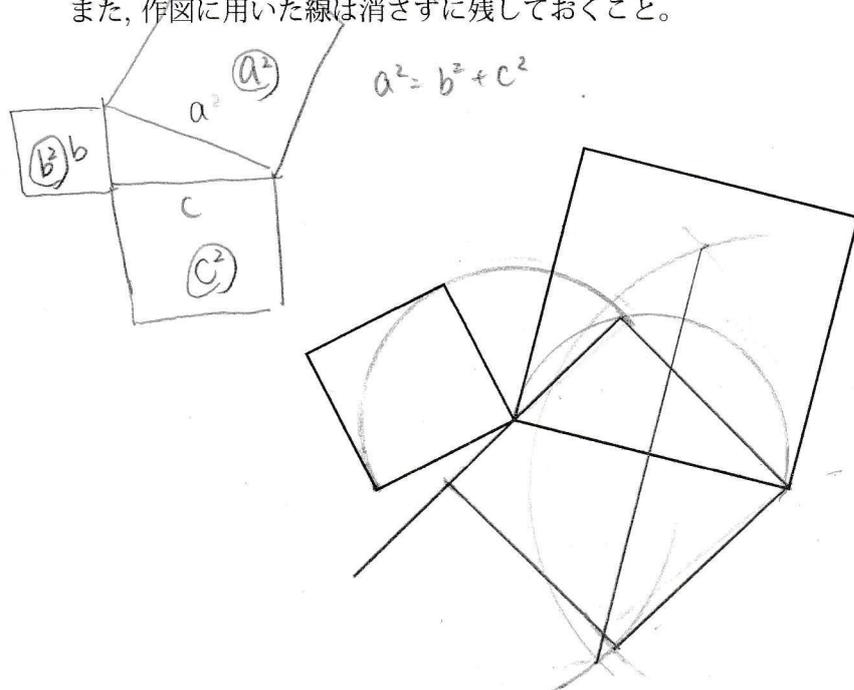


作図12

下の図のように、1辺の長さが異なる2つの正方形があり、1つの頂点が重なっている。
このとき、面積が、2つの正方形の面積の差に等しい正方形を作図しなさい。

ただし、三角定規の角を利用して直線をひくことはしないものとする。

また、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。



[千葉県]

(直径)
大きい方の正方形の1辺を斜辺とし、他の辺を小さい方の正方形を
1辺とする直角三角形を作図する。円周角の定理より円周上の
角は直角になることを利用する。
作図する正方形の1辺は残りのもう1辺を1辺とする正方形と
なる。